

令和6年度 第68回日本読書学会大会

プログラム・要旨集 正誤表

1) 発表取消

次の発表は本人からの取下げの申し出により発表取消となりました。

P2-2 読解方略選択・統合促進の工夫—教具「読み深めカード」の提案—

犬飼龍馬

令和6年度 第68回日本読書学会大会プログラム

日程：2024年9月22日（日）10:00～18:30

〈9:30～〉受付

〈10:00～11:30〉個人研究発表 第一会場（603号室）／第二会場（604号室）

〈11:40～12:40〉理事会（603号室）

〈12:50～13:30〉総会（604号室）

〈13:30～14:00〉表彰式（604号室）

〈14:00～14:30〉日本読書学会読書状況調査の概況報告（604号室）

〈14:40～16:40〉個人研究発表 第一会場（603号室）／第二会場（604号室）

〈17:00～18:30〉懇親会（603号室）

*懇親会費2,000円は、懇親会会場にて現金でお支払いください。

場所：林野会館（東京都文京区大塚3丁目28番7号 電話03-3945-6871）

*地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩7分、筑波大学附属小学校正門近く



参加費：会員3,000円、非会員3,500円、学生2,000円

*発表及び参加は全て事前申込制であり、当日の参加申込は受けつけられません。

*研究大会に参加される方は、発表者以外の方も必ず事前の申し込みをお願いいたします。

参加申込締切：2024年9月6日（金）

参加費納入締切：2024年9月6日（金）

*参加費は9月6日までにお振込みください。会場での払込はできません。

*発表要旨集はPDFデータで作成し、参加費をお支払いいただいた方のみへの公開とさせていただきます。

郵便振替口座番号：00160-4-790648

郵便振替口座名称：日本読書学会

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード9900

店番019

預金種目：当座

店名：〇一九（ゼロイチキュー）店

口座番号：：0790648

（最初の「0」は不要の場合がございます）

大会実行委員会

実行委員長：上谷順三郎（鹿児島大学）

副実行委員長：福田由紀（法政大学）

実行委員：足立幸子（新潟大学）・平山祐一郎（東京家政大学）・勘米良祐太（武蔵野大学）

事務局長：深谷優子（國學院大学）

大会関連のお問い合わせは日本読書学会事務局まで。



- * (発表者) 個人研究発表は、20分発表、10分質疑応答、計30分です。
- * (発表者) 配布資料がある場合、各会場入口付近のテーブルに置いてください。
- * (発表者) 投影資料がある場合、開始前に接続の確認を行ってください。
- * (発表者) 発表する研究は、倫理的な問題がないことが前提となります。研究発表では、個人や所属組織等、または特定の商品などの宣伝は慎んでください。
- * (参加者) 研究発表の映像や資料の撮影・録画・録音は原則禁止です。
- * (参加者) 質疑応答では、質問者はお名前とご所属を述べてからご質問ください。

<10:00~11:30> 個人研究発表 (A1) 第1会場 (603)

司会：足立幸子 (新潟大学) ・藤木大介 (広島大学)

A1-1 小学生の読書会では何が語られるのか —大学生の読書会との比較—

津々歩美 (ノートルダム清心女子大学大学院)

A1-2 本当に働いていると本が読めなくなるのか：JGSS データを用いた検証

桜井政成 (立命館大学)

A1-3 インクワイアリー・サークルのキー・レッスン—リテラチャー・サークル及び内容領域の読みのレッスンとの比較を通して—

足立幸子 (新潟大学)

<10:00~11:30> 個人研究発表 (A2) 第2会場 (604)

司会：山下直 (専修大学) ・井関龍太 (大正大学)

A2-1 国語科教育をめぐる〈説明〉に対するメディア考古学的研究の試み

田中秀憲 (東京学芸大学大学院)

A2-2 文法的不具合の出現頻度と文章構成の適切さの関係

勘米良祐太 (武蔵野大学) ・堂下雄輝 (ベネッセ教育総合研究所)

A2-3 高等学校「言語文化」の教材採録状況—古文教材を中心に—

山下直 (専修大学)

<11:40~12:40> 理事会 (603)

* <11:30~12:50> 604で持ち込みの飲食が可能です。

<12:50~13:30> 総会 (604)

<13:30~14:00> 表彰式 (604)

*受賞者の研究紹介も行われます。

<14:00～14:30> 日本読書学会読書状況調査の概況報告（604）

<14:40～16:40> 個人研究発表（P1） 第1会場（603）

司会：荷方邦夫（金沢美術工芸大学）・平山祐一郎（東京家政大学）

PI-1 河合栄治郎編『学生と読書』の考察

後藤淳子（広島大学大学院）

PI-2 絵本の読み語り手が選択する絵本とその絵本のメッセージの研究—読み語る対象が成人期・中年期・老年期の場合—

中藤由佳美（山口県立大学大学院）・佐々木直美（山口県立大学大学院）

PI-3 幼児期の絵本との触れ合いが非認知能力に及ぼす影響と関連への展望

魏旭童（学習院大学）

PI-4 戦前・戦中期の保育問題研究会における絵本の興味研究に関する検討：メディア研究を視野に入れて

若林陽子（岩手県立大学）

<14:40～16:40> 個人研究発表（P2） 第2会場（604）

司会：福田由紀（法政大学）・長田友紀（筑波大学）

P2-1 戦争の惨禍について読むこと・書くことを通じて記憶の継承者になる—修学旅行での被爆地フィールドワークを軸とした中学・国語科の授業実践—

柳屋亮（横浜国立大学教育学部附属横浜中学校／横浜国立大学教職大学院）

P2-2 読解方略選択・統合促進の工夫—教具「読み深めカード」の提案—

犬飼龍馬（立命館守山中学・高等学校／神戸女学院大学）

P2-3 学習者のメタ認知に注目した読むこと指導—小学校1年生「どうぶつの赤ちゃん」の実践より—

大村幸子（お茶の水女子大学附属小学校）

P2-4 物語・小説教材に対する教師の意識—小・中・高等学校教師を対象としたウェブ調査—

石原雅子（関西外国語大学）・菊池理紗（法政大学）・
長田友紀（筑波大学）・常深浩平（淑徳大学）・福田由紀（法政大学）

<17:00～18:30> 懇親会（603）